

教育目標と指導の基本方針

- ◎ かしこく（よく考え、創意工夫する子）
- やさしく（自他を大切にする子）
- つよく（粘り強く元気な子）

目標を達成するための3つの基本方針と主な具体策

【かしこく】よく考え、創意工夫する子

- ・分かった、できた喜びのある授業の実践。
- ・主体的に考え、話し合い、表現する授業。各教科の授業における問題解決的な学習や探究学習の一層の充実。
- ・一人1台端末のより一層の有効活用とICT機器を効果的に活用したデジタル社会を生きる力と直接対話を通したコミュニケーション力の育成。
- ・一人一人の状況を把握した「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践。
- ・朝読書や図書館などを活用し、日常的に読書ができるよう子供の実態に応じた読書指導を行う。
- ・学期に1回、校内俳句大会を実施し、子供の語彙力を高め、表現力や感性を養う。
- ・授業終わりの5分間で個々の学びの振り返りの徹底と充実を図り、何を学んだか、何ができるようになったかを確認し、学習の定着を図るとともに、教える側の振り返りにも生かす。

【やさしく】自他を大切にする子

- ・多様性を認め合い、偏見や差別、いじめを許さない人権感覚の育成。
- ・「子供の声を聴く」ことを柱とする教師の姿勢。表情、態度、遊びの中にある本音や感情を受け止め、一人の人間として尊重する。（アクティブ・リスニング）
- ・「オ（おはようございます：気持ちの良い挨拶）ア（ありがとうございます：感謝の心）シ（失礼します：譲り合いの心）ス（すみません：謝る心と感謝の心）」の挨拶への意識向上。
- ・より良い人間関係を築く言語を大切にする。
- ・考え、議論する「特別の教科 道徳」の授業を要とした道徳教育の一層の充実。
- ・ユニバーサルデザインに基づき、どの子にも学習に参加しやすい環境づくり。

【つよく】粘り強く 元気な子

- ・「元気アップガイドブック」を活用した日常的な遊びや体育授業の改善、体力向上に向けた意図的・計画的な取組をする。
- ・保護者と連携を図りながら「グッドモーニング60分」の取組を行い、基本的な生活習慣を身につける。
- ・給食指導、「お弁当の日」などを通して、「もったいない」という意識や食に関する指導の充実。
- ・子供たちを認め、励ましながら、困難にも折れることのない「しなやかな強さ」を養う。